



若林みきおの 議会だより

2010年4月発行
第6号
若林幹雄(東御市議会議員)
東御市滋野乙2724
Tel/Fax0268(62)2070
携帯:090-4728-0922

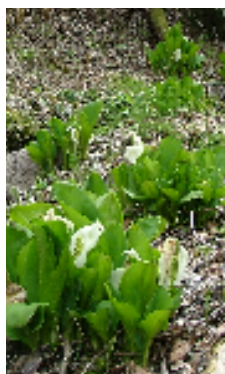
萌え出ずる春になりました

すっかり春めいてきましたが皆様お元気でしょうか。
芽吹き季節です。農作業もいよいよ始まり忙しくなりますね。

春は出会いと別れの季節でもあります。今年も保育園や小中学校の卒業式・入学式に出席しました。多くの子供たちが育って行きました。そしてまた元気な子供たちが入ってきます。一人ひとりの子供たちは地域にとってかけがえのない宝です。伸びやかに育ち、自分の夢に向かって歩いてほしいと願っています。

わが家は「安心の家」です。時々子供達がトイレを借りに来たり、水を飲みに寄ってくれます。ついこの間までお姉さんに連れられて来た子が、いつの間にかすっかり背も高くなり、今度は小さな子の世話を焼いています。子供たちの成長は早いものですね。

今年度予算で市は子育て支援の取り組みに力を入れています。子ども手当の支給や児童福祉医療費の中学校1年生までの拡大、保育園の建設などきめ細かな施策が実行に移されています。



春、私の楽しみは山菜取りです。山に入る途中の沢沿いに水芭蕉が咲いている所があります。こんなところにと驚きですが、地域の皆さんの熱心な取組みに感謝して、いつも目を楽しませていただいています。春は生きとし生けるものにとって生命の季節です。

(写真) 楚々と咲く水芭蕉が印象的です。

目次

- 1 萌え出する春になりました 議員日誌「とうみ」がいちばん
- 2 生活弱者に寄り添う市政であってほしい
- 3 市民の目線に立ったやさしい行政を
- 4 市民の手で新しいまちづくりを進めましょう



「とうみ」がいちばん

松江で「雷電」に会いました



昨年秋、行政視察で島根県松江市を訪問しました。その際先方の担当者から「雷電さんのまちですね」と声をかけられ感激しました。

松江でぜひ訪れてみたかったのが雷電為衛門顕彰碑です。この碑は昭和31年(1956年)に雷電と松江藩とのつながりを記念し、藩主の菩提寺である月照寺に建立されたものです。

天明4(1784)年、18才で江戸に出てきた雷電は、松江公に気に入られお抱え力士となります。相撲が全盛の江戸時代、力士は藩の力と威信を誇示する広告塔でした。松江藩でも多くの力士を抱え雲州力士と呼ばれ、相撲界で欠くことができない存在でした。「雷電」の四股名はもともと雲州ゆかりのもの。為衛門のほかにも雷電を名乗った力士がいたそうです。

顕彰碑の前で写真を撮りました。私の右手で指し示すところに雷電の手形が掘り込まれていました。郷土の英雄がこんなところに足跡を残していることに、とても誇らしい気持ちになりました。



お困りごと相談所

お気軽にご相談ください。

0268(62)2070

議員日誌(1~3月)

1月

3日は区の総会。8日は広報委員会。9日は九条の会新年会。10日は午後から消防出初式に出席。16日は滋野地区の新旧区長の引継ぎ会。17日は中屋敷郷土史研究会新年会。20日は広報委員会、午後から上田地域市町村議員研修会に出席。24日は松本で元我孫子市長、福島浩彦氏の事業仕分け講演会。25日は広報委員会。26日は市民病院に要望を語る会。30日は夜回り先生水谷修さんの講演会。30日は地元山岳会の新年会に出席。

2月

5日は佐久で堤未果さんの講演会。6日は歴史講座。9日は議員研修。12日はまちづくり懇談会。13日は私の「市政と要望を語る会」、約60名の方にお集まりいただきました。15日は臨時議会。16・17日は会派の視察で千代田区議会・図書館を訪問。19日病院に要望を語る会新聞編集委員会。21日は男女共同参画のつどい。23日から3月議会開会。25日は全員協議会と議会改革委員会。28日は柳沢みつよさんの国政報告会。

3月

2日はぶどう組合総会。3日は都市計画審議会。4日は代表質問、5日は一般質問。6日は事業仕分け講演会に出席、夜坂ロキコさんのコンサート。8日は一般質問、9日は総括質疑。10日から3日間は委員会審議。17日は東部中学校卒業式、18日は滋野小学校卒業式。19日は3月議会閉会。25日は滋野保育園卒園式。26日は小諸市外2市水道組合。29日から二日間マニフェストスクール。30日は病院へ要望を語る会に出席。

■ 生活弱者に寄り添う市政であってほしい！

平成22年度の予算を審議する第1回定例会は2月23日より3月19日まで行われました。私は一般質問で、職を失った人々への生活支援の取組みについて、南口地域振興計画の問題点について、舞台が丘整備計画についてそれぞれ市長の考えをお聞きしました。まだまだ景気は厳しい状況です。こんなときこそ、生活弱者に寄り添う市政であってほしいと思います。

■ 生活支援の取組みは十分ですか

生活保護は狭き門ではないか

最近の景気悪化の中で生活保護相談が多くなっています。しかし窓口の対応が冷たいという声も伝わってきています。そこで今回の一般質問では生活保護について取り上げました。

東御市の昨年4月から12月までの生活保護受理件数は5件、前年の10件の半分です。近隣3市では相談件数・受理件数の伸び率はいずれも前年を上回っていますが、東御市だけは受理件数は前年割れ(下図棒グラフ参照)で狭き門となっています。

事前規制を行っているのではないか

さらに問題なのは生活保護の申請にあたり事前規制を行っているように見えることです。生活保護は申請された中から審査し、受理の有無を決定します。ですから普通は申請が受理を上回ります。ところが当市の場合申請と受理がいずれも12.2%。まったく同じです(下図折れ線グラフ参照)。受理する分しか申請させないよう行政指導しているのではないのでしょうか。

生活保護は「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」という憲法第25条の理念にもとづいています。事前規制することは国民に認められている申請権の侵害ではないのでしょうか。



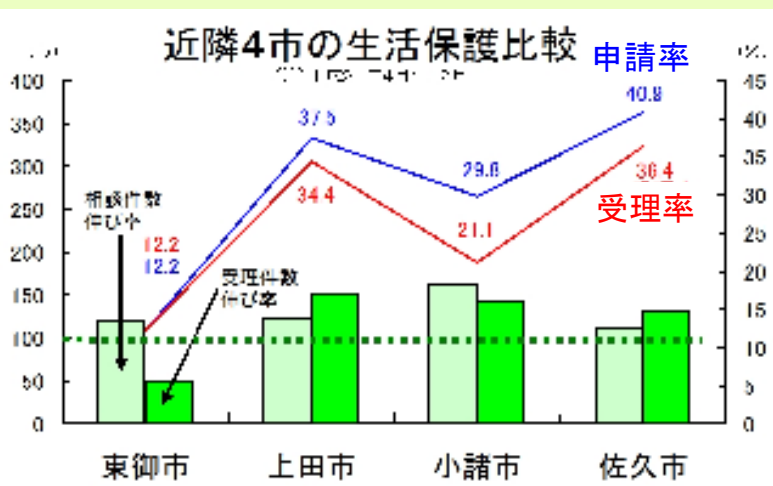
(写真) 2月13日、市政と要望を語る会を開催しました

親切な対応と生活保護申請権の尊重を

これに対し健康福祉部長は「生活保護は適切に実施している。受理率が低いのは結果的にそうなったもので決して狭き門ではない。生活保護は最後のセーフティネットであるという認識のもと、市民の申請権を尊重して行きたい」と述べました。

いま生活保護を申請されている多くの方は職を失った方です。行政が支えることが求められています。私は申請権の尊重、親切な対応、希望する方には申請書を交付するように求めました。

これに対し市長は「肝に銘じて実施してまいりたい」と述べました。ぜひ実施していただきたいと思います。



【棒グラフ】

近隣3市では相談件数・受理件数とも前年より増えているのに対し、当市は受理件数の伸び率だけは50%と前年の半分です。東御市だけが他と違っていません。東御市の生活保護の門は狭くなっていないのでしょうか。

【折れ線グラフ】

佐久市は相談者のうち40%の方が申請し、36%の方が受理されています。上田市では37%が申請し、34%が受理されています。東御市は申請と受理が同数で12%と最低です。

なぜでしょうか。個別的には様々な事情があるかもしれませんが、しかしデータからは、受理させる方にしか申請させず、結果として生活保護を抑制しているように見えます。

■ 南口振興計画は必要ですか

あれもこれも盛り込んでいないか

市は昨年12月、田中駅南北連絡橋の完成に伴い南口活性化のため「南口地域振興計画」を策定しました。この1月からはパブリックコメントを実施しています。

しかし計画にはすでに田中商店街へ設置が決まっているコミュニティ放送局や、南口に関係のないもの、不確定要素が高い東御警察署や田中駅の橋上駅舎などが盛り込まれています。実現性に乏しいものは計画からは除外すべきではないでしょうか。

市民の悲願と計画とは別の問題です

産業建設部長は「田中駅の橋上駅舎はしなの鉄道沿線市町村で検討している。警察署誘致は市民の悲願であり、その意思を示して行きたい」と述べました。

市民の悲願ということと具体的な計画に盛り込むということは別の問題です。今後財政は一層厳しくなり、さらなるムダの排除が必要となります。計画を見直し、採算性を十分考慮したコンパクトな計画とすべきです。



利用者も少なくガラとした田中駅南口（連絡橋から撮影）

■ 設計にも市民の声を生かして

舞台が丘整備計画は今年いよいよ構想から具体的な設計段階に移ります。今後とも市民の声を聞く機会を設けてほしいと思います。また市民との合意形成のルールとして、自治基本条例を設ける考えはないかお尋ねしました。

これに対し総務部長は「設計には検討委員会をつくって取り組む。今後とも市民の意見を聞く機会を設けたい」と述べました。自治基本条例制定について市長は「いまのところそのつもりはない」と述べました。

第1回 定例会

市民の目線に立ったやさしい市政を！ ～平成22年予算成立 129億3800万円～

第1回定例会は2月23日から開催されました。一般会計・特別会計などの平成22年度予算、平成21年度の補正予算など35議案が上程され、それぞれ可決・承認されました。

一般会計の総額は129億3800万円で、前年に比べて4億3100万円、3.4%増です。歳出では、民生費が子供手当や祇津保育園改築などで40億6300万円と、前年度比9億8千万円の大幅増となりました。

▼ 予算の主な内容

・ 子供手当費	5億6241万円
・ 祇津保育園建設工事費等	3億6850万円
・ 児童福祉医療費（中1まで拡大）	2516万円
・ ヒブワクチン接種補助金	156万円
・ 舞台が丘整備基本構想設計委託料	1280万円
・ 海野地区整備事業	2700万円
・ 公営住宅建設事業費（伊勢原団地）	9752万円
・ 緊急告知ラジオ端末整備委託料	4675万円
・ コミュニティ放送局施設整備等	3150万円
・ デジタルチューナー購入費	1448万円
・ 緊急雇用創出事業等	1559万円
・ ふるさと雇用創出特別事業等	1311万円
・ 重点分野雇用創出事業委託料	3000万円
・ 中小企業振興資金等預託金	2億5000万円

■ 緊急雇用対策を実施します

重点分野雇用創出事業とは、介護・医療・農林・環境など成長分野において雇用機会の創出に努め、あわせて地域ニーズに応じた人材育成を図るものです。平成22年度は失業者への新規雇用として65名の雇用創出が見込まれています。平成21年度から23年度の3年間の累計で202名となります。仕事を失った方の一助となればと思います。

■ 子育て世代へうれしいお知らせ

今回の予算の中には子育て支援の取り組みが数多く盛り込まれています。

- ・ 子供手当は中学校終了までの児童・生徒を対象に一人当たり月額1万3000円が支給されます。
- ・ 児童福祉医療費が、これまでの小6から中1までに拡大されます。
- ・ ヒブワクチンへの補助金が創設されます。
- ・ 滋野地区にこの秋に児童クラブが開設されます。
- ・ 「助産所とうみ」はいよいよ4月22日にオープンします。



市民の手で新しいまちづくりを進めましょう！

今年は、東御市のこれからのまちの形を決める重要なプロジェクトがスタートします。私たちにとって、よりよいまちづくりのために、皆様のお知恵をお貸しください。

■ なぜいまプロジェクトなのか

いま東御市では多くの重要なプロジェクトが進められています。舞台が丘整備計画では本庁舎の耐震補強と図書館との合築が検討されています。助産所はこの春オープンします。保育園の統合は祢津では建設に着手、滋野でも用地選定が進められています。

しかしなぜここに来て大型プロジェクトなのでしょう。それは合併特例債の特別な事情があります。合併特例債は事業費の66.5%が交付税で充当される有利な起債です。すなわち10億円の事業が3億3500万円の負担でできるということです。しかし使える期限は合併してから10年以内。借り入れには慎重であるべきですが、市民生活にとって欠かせない施設であるならば、こうした有利な起債を活用することも検討すべきだと思います。



写真説明

【上段左】建設が進む助産所 【上段右】祢津保育園の仮園舎建設現場 【下段】舞台が丘整備計画で耐震補強と図書館との合築が進められている市役所本庁舎

■ 今年はまちづくり元年

しかし、建物の建設は一朝一夕にできるものではありません。合併して6年が経過しました。4年後までには完成していなければならないことを考えれば、残された時間はそう多くはありません。まさに今年はどんな市庁舎にするのか、どんな図書館を作るのか、子供たちにとって快適な保育園とは何かを市民の皆さんとともに考える時だと思えます。

そうした意味で、今年はどんなまちをつくるのか、市民みんなで考える「まちづくり元年」です。

■ 納得と合意が大切です

3月議会には加沢区の皆さんが大勢傍聴にお見えでした。いま田中保育園の田中駅南口への移転が検討されていますが、これに納得できないとおっしゃっていました。図書館の本庁舎への合築についても疑問をお持ちの方もいらっしゃいます。

市民の中には様々な意見があります。よりよいまちをつくるには、そうした意見を一つにまとめねばなりません。そのためにはお互いに十分話し合い、相手の意見にも耳を傾け、時には譲り合い、納得して合意することが必要です。行政まかせにせず、自ら声をあげることです。

私は市民の皆さんお一人おひとりの思いを大切に、そうした願いが結実するようなまちづくりを進めたいと願っています。

編集後記 ーご意見・ご感想をお寄せください。

- ▼ 2月に初の「市政と要望を語る会」を開催しました。市政報告は市民の皆さんへのお約束でもあったので実現できてうれしく思っています。お寒い中お運びいただきました皆様、ありがとうございました。
- ▼ いよいよ春の農作業の時期となります。わが家でもこの「議会だより」が出る頃、ジャガイモの植え付けです。ブドウ畑の耕運も始まります。忙しくなります。
- ▼ この時期、私の楽しみは山菜取りです。タラの芽を求めて山に入ります。「山笑う」という言葉があります。春をさす言葉で、新緑の山にはぴったり。ちなみに夏は「山滴（したた）る」、秋は「山装（よそお）う」、冬は「山眠る」です。

- ▼ ブログを始めて1年あまり。最初は見よう見まねで始めたのですが、最近ではほぼ毎日更新しています。継続は力なりです。続けることで見えてくるものがあります。

- ▼ 「QRコード」を右に掲載しました。カメラ付き携帯でバーコードリーダーを起動すると、私のブログに接続できます。ご覧ください。

【QRコード】



■ ブログをご覧ください

ブログに議員活動を掲載しています。

http://blog.goo.ne.jp/dragonfly_nagano/
（「若林みきおの議員日誌」としても検索できます）